

2022年03月22日号
私たちの地球のためにできること
SDGSを知ろう！

1分でわかる！
会社を成長させるための
桑原事務所メルマガ通信 Vol.6

みなさま、おはようございます。
社会保険労務士法人桑原事務所の西村でございます。
本日は「SDGS（エスディー・ジーズ）」についてご紹介します。

最近、SDGS（エスディー・ジーズ）という言葉がニュースや新聞などでよく聞くことはありませんか。
SDGSとは「Sustainable Development Goals」の略で、日本語では「持続可能な開発目標」を意味しています。2015年に国連サミットの中で、「先進国と発展途上国の壁をなくし、2030年までに持続可能なよりよい世界を目指す17の目標」として採択されました。

環境問題などへの取り組みは企業にとってコストのかかるイメージがあります。
しかし、積極的にSDGSが掲げる目標達成にむけて活動する企業が増えています。

その背景として、

1、「ビジネスチャンスが生まれる」

社会貢献を前提に、目標を掲げて活動することで、あらゆる分野の問題や課題に参入すると、新たなビジネスチャンスが生まれます。

2、「企業のイメージアップ」

SDGSに対する企業の取り組みをアピールすることは消費者の共感を生み出し、企業イメージの向上に効果的です。人材採用においても、SDGsへの取り組みを明確化することで、新たな属性の志望者を発掘できるメリットがあります。

3、「製品やサービスに付加価値が生まれる」

環境に配慮した素材を使った製品を作ったり、二酸化炭素を抑えた方法で生産することで、商品に付加価値が生まれます。付加価値がついた製品は消費者が購入を決めるきっかけのひとつともなるので、製品の売上向上につながります。

4、「従業員のモチベーションアップが図れる」

例えば、目標8の「働きがいある職場」を作っていくと、数年をかけて職場改善のテーマを掲げて取り組むので、年を追うごとに職場環境が良くなり、従業員のモチベーションが保たれます。

一方、企業がSDGSに取り組むデメリットとして、「コストがかかる可能性がある」が挙げられます。環境に配慮した素材を製品に使用したり、開発をしようとするとなんげと開発費が発生したり、課題に対処するための従業員が費やす時間の人件費も発生します。しかし、過剰包装から簡易包装の実施や、これまで紙で送って

いたダイレクトメールを電子メールで送信する等、SDGS の活動を掲げながらコストダウンをするチャンスも考え次第で生まれます。また、「SDGS ウォッシュ」と呼ばれる、SDGS に取り組んでいると公言しているのにも関わらず、実際は取り組んでいないことが明るみにできると、消費者から反感を買うこととなり、SNS 上などでの炎上リスクが高まります。上記のメリットとデメリットをよく考え、みなさまが SDGS に取り組むきっかけになればと思います。

ご不明点等ございましたら、お気軽に当事務所までご連絡ください。
よろしく申し上げます。

社会保険労務士法人桑原事務所
〒747-0801 山口県防府市駅南町 8-14
[TEL:0835-22-6706](tel:0835-22-6706)
FAX:0835-26-0023
MAIL: info@kuwasr.net
